

公共交通利用円滑化懇談会提出資料

平成16年12月14日

日の丸交通株式会社 富田昌孝
毎日タクシー株式会社 三浦宏喜

東京（都内 23 区・三鷹・武蔵野市内）における鉄道駅での タクシー乗り場の運営及び営業状況

都内の法人タクシー事業者団体である東京乗用旅客自動車協会の中に駅構内営業運営委員会を組織し、協会員及び個人タクシー事業者団体が参加し鉄道駅のタクシー乗り場に関する事業と J R 東日本に対し、駅構内営業料金として 1 両当り月間 50 円の支払業務を行っている。

東京 23 区・三鷹・武蔵野市内の鉄道駅（私鉄、地下鉄駅含む）に設置されているタクシー乗り場数は
162 ケ所
その内 上屋付きタクシー乗り場は
74 ケ所
点灯式タクシー乗り場は
33 ケ所

又、近年乗り場施設の設置では福祉高齢化社会への対応を基本とした乗り場のバリアフリー化の推進に努めています。

又、タクシー乗り場でのタクシー利用客の状況と鉄道駅への利用者輸送については昨年 12 月に実態調査（東京駅）を実施した結果は下記の通りです。

- ① 東京駅八重洲口側乗り場 （午前 8 時～午後 12 時）
10 日 4,939 台 11 日 4,780 台 12 日 4,869 台

- ② 東京駅丸の内口側乗り場 （午前 8 時～午後 12 時）
10 日 3,490 台 14 日 1,981 台

- ③ タクシー利用者の八重洲口側での降車車両数
10 日 4,795 台 11 日 6,658 台 12 日 7,100 台

又、東京・多摩地域での鉄道駅のタクシー乗り場については当該駅の入構会社間で運営委員会を組織し運営しています。

鉄道駅タクシー乗り場に於ける運営上の課題

東京の表玄関である東京駅（八重洲側口）迄での一日のタクシー利用者数と、駅タクシー乗り場での利用者数から現状のタクシー乗り場は、駐車スペースが大変狭く利用の効率化を阻害し、違法待機・違法降車乗り場からの出車渋滞等が日常化しています。又、他の鉄道駅も同様の問題が発生しています。

タクシー事業者としてこのような状況を早期に改善すべき課題として、関係機関との協議を望んでいるところです。

平成16年度事業計画

(自平成16年4月1日)
(至平成17年3月31日)

駅構内におけるタクシー営業の円滑な運営とサービスの向上を図るため、東日本旅客鉄道株式会社、関東運輸局、警視庁交通部並びに関東東京タクシーセンター等と緊密な連絡のもとに本年度は、次の事業を推進する。

1. 現行の駅構内営業の実態を調査把握し入出構等の円滑化を図る。
2. 関係駅のタクシー乗り場指導員詰所電気設備等の継続使用手続きを行う。
3. JRステッカーの増減等の取扱を行う。
4. 屋根つきタクシー乗り場並びに囲い付き乗り場の設置を推進する。
5. タクシー乗り場案内施設の改善に努める。
(案内標識の整備及び夜間照明付案内板の設置等)
6. 未加入事業者の入会を勧奨する。
7. JR東日本の行うPR活動に協力する。